



長万部町地域おこし協力隊通信

外もだいぶ暖かくなってきました。ポカポカしてて、新しい芽が生えてくる匂いを「春の匂い」と私は言っています。なんだかいろんなモノ、コトが始まる感じがして、とってもワクワクしちゃうんです(^^*)♪

さて、3月6日（水）に『長万部町地域おこし協力隊活動報告会』がありました。遅い時間に関わらず、たくさんの方にお越しいただけたことがとても嬉しかったです。本当にありがとうございました。

ここで、3月31日をもって協力隊を卒業した3名の隊員から、退任のご挨拶です。

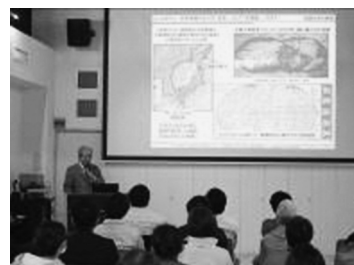
退任のご挨拶。

私が長万部町地域おこし協力隊として着任いたしましたのは、2016年6月でございました。協力隊員として任用が決まり、コンサルテーションしていたクライアント企業様へ挨拶回り途中、タクシーの中で腰に異変を覚えそのまま病院に直行、診断の結果は椎間板ヘルニアで、手術した方が良いとの勧めを受け入院・手術・リハビリの2ヶ月間。そして長万部へ…

残念ながら私にできる仕事に出会えず、また生来の貧乏性からか動ける限りは働こうとの思いで、長万部町を離れることとなりました。

今後は、幕末期の北海道の歴史に関わる資料・文献などの収集・調査などに時間をさき、北海道の南半分の重心にして交通の要所である長万部にまたいつの日か何某かの事業のチャンスもあるものと信じ、その時までしばらく旅に出たいと思います。

大変お世話になりました。ありがとうございました。 西山 英彦



私の定住策であった起業を道半ばで断念したことに後悔はありますが、どの業務においても新鮮な気持ちでやりがいを感じながら活動が出来ましたので、我が協力隊活動一片の悔いはありません。この様に3年間の任期を全う出来た事は何よりも地域の皆様の支えがあったからこそなので、活動でお世話になった地域の皆様に感謝申し上げます。

3年間ありがとうございました。 武澤 秀人



毎日が充実していて、内容が濃かった3年間。長いようで本当にあっという間でした。地域おこしてなんだろう、自分の活動は地域の人にどう映っているのかな…と悩んだこともたくさんありました。そのたび、ご飯に連れてってくれたり、飲みに誘ってくれたり、お話を聴いてくれました。また、プログラムで子どもたちのたくさんの笑顔に出会うことができました。たくさんの方に支えられ、今の自分があります。本当にありがとうございました。

私はこれから『officeごえん』として、新しいスタートを切ります。長万部町へ来て、いろんなご縁で今があります。「ご縁を大切に、感謝を忘れない」という想いをこめてこの名前にしました。今後は、これまでプログラムしてきた社会教育事業の継続と、元本屋さんを活用してゲストハウスとコミュニティスペースを創りだそうと考えています。オープンは、近くなったらまたお知らせしますね。協力隊は卒業ですが、この町でいろんなチャレンジをまだまだしていきます！これからも末永くよろしくお願いします。

中野（谷本） 美貴

